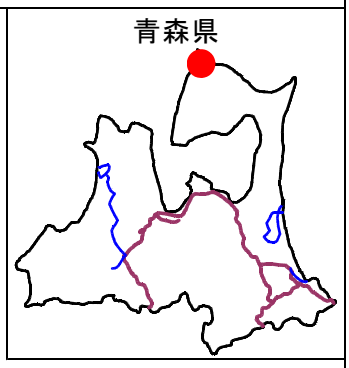
## 安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

| 事業名 | 奥戸（おこっぺ）海岸局部改良事業（補助：事業主体　青森県）<br>（青森県下北郡大間町） |
|---|---|
| 事業着手：平成１５年度 | |

**事業の必要性・事業の概要**




**「事業の必要性」**

奥戸海岸は、本州最北端の大間町の西海岸に位置し、津軽海峡に面し、冬期風浪が厳しい海岸です。背後には民家が集積し、国道３３８号が走っていますが、波浪時には浸水被害や国道の通行止めによる影響が大きいため、隣接する漁港管理者と連携を図り、既設離岸堤の改良及び新設を局部的に実施します。

**「事業の概要」**

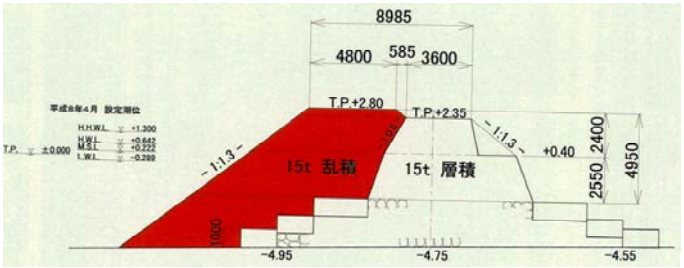
越波（えっぱ）被害を軽減するため、離岸堤の新設及び改良を実施します。




波浪状況




離岸堤改良標準断面図




**事　業　効　果**

浸水防護対策が必要となる地域の高潮等の越波による浸水被害が解消されます。

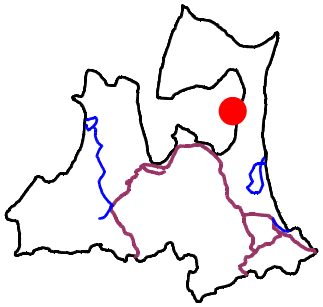
浸水面積　３．８ｈａ　→　０ｈａ

## 安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

| 事業名 | 向平海岸局部改良事業（補助：事業主体　青森県）<br>（青森県上北郡横浜町） |
|---|---|
| 事業着手：平成14年度 | |

**事業の必要性・事業の概要**

青森県

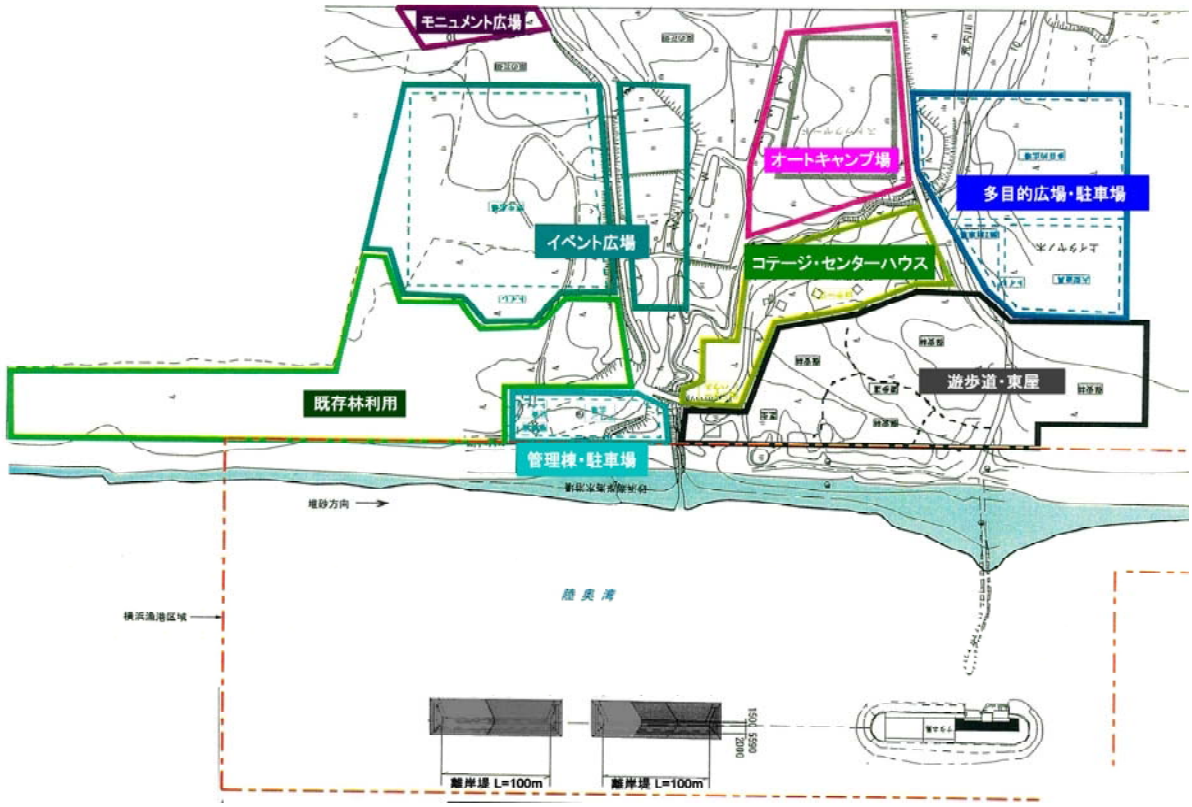


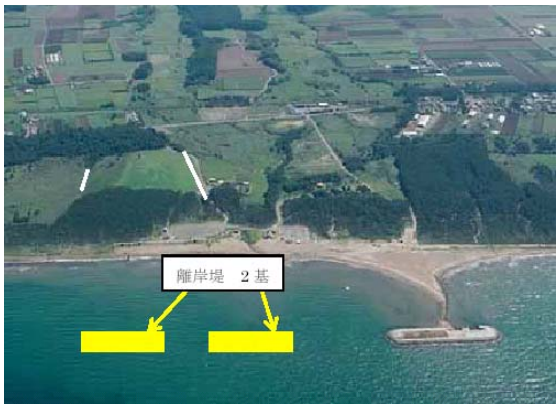
**「事業の必要性」**

向平海岸は、冬期波浪等による侵食が激しく、砂浜の減少と礫浜化が進んできたことから、離岸堤を整備し、波浪の低減を図るとともに、堆砂効果により砂浜の復元を促進します。また、背後地は町の地域振興計画に位置付けられた環境整備事業が実施されており、それら施設との一体的な利用が図られることにより、広域的な海岸利用を促進します。

**「事業の概要」**

越波被害を軽減するため、離岸堤を整備します。







※侵食により、礫浜化が進んでいる※

**事　業　効　果**

浸水防護対策が必要となる地域の高潮等の越波による浸水被害が解消されます。

浸水面積　３．２ｈａ　→　０ｈａ

## 安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

| 事業名 | 一般国道45号　歌津大橋震災対策（直轄）<br>（宮城県本吉郡歌津町） |
|---|---|

**事業着手：平成16年度**

**事業の必要性・事業の概要**

宮城県



**「事業の必要性」**

一般国道45号歌津大橋は、太平洋湾岸（伊里前湾）に架橋された橋長304mの長大橋であり、宮城県沿岸地域を南北に縦貫する区間にあり、緊急輸送道路に指定されています。

当該橋梁は、今後高い確率で発生するとされている宮城県沖地震の影響地域に属しており、地震で被災した場合、緊急輸送道路の分断が予想されるとともに、地域の社会・経済活動に大きな支障をきたす恐れがあるため、早急な対応が求められています。

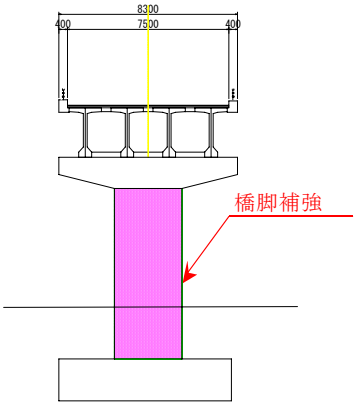
**「事業の概要」**

歌津大橋震災対策事業は、地震による落橋を防止する構造の設置、巻き立てによる橋脚の補強を行い、橋梁の耐震性の向上を図るため、平成16年度より事業に着手しています。

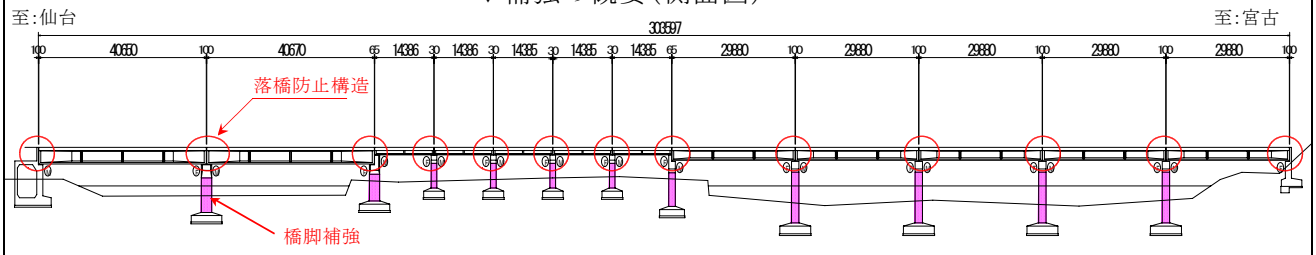
▼歌津大橋全景



▼補強の概要（断面図）




▼補強の概要（側面図）




**【橋梁震災対策のイメージ】**



◀橋脚補強の実施例

落橋防止構造の実施例▶



**事　業　効　果**

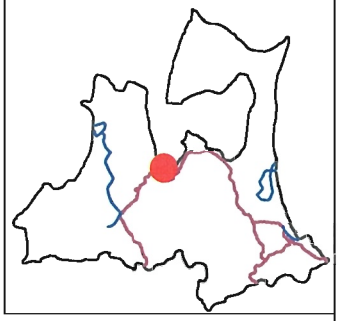
○橋梁の耐震性能が向上し、緊急輸送道路ネットワークの確保が図られます。

## 安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

| 事業名 | 青森港沖館地区複合一貫輸送ターミナル（耐震改良）（直轄）<br>（青森県青森市） |
|---|---|
| 事業着手：平成15年度 | |

**事業の必要性・事業の概要**

青森県



**「事業の必要性」**

青森港と北海道を結ぶ航路は、本州と北海道のフェリー輸送の約3割にあたる年間約2，200万トンの取扱量があり、本州－北海道間の複合一貫輸送※の大動脈航路です。

大規模地震災害時においても、本州－北海道の物流の混乱を少なくするため、一定の物流機能を確保する必要があります。

※複合一貫輸送：特定の貨物が船舶、鉄道、自動車、航空機など種類の異なる2つ以上の輸送手段により相次いで輸送される場合をいう。

**「事業の概要」**

本事業は、震災直後から復旧期間における一定の幹線貨物（フェリー）輸送機能を確保するため、青森港沖館地区において、既設岸壁（水深6m）を耐震強化岸壁（延長185m、水深7．5m）に改良整備を行うものです。







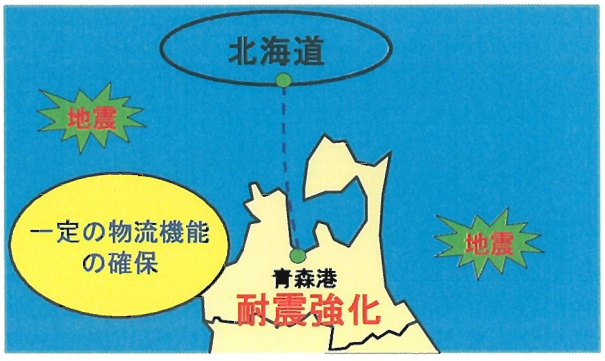
**事　業　効　果**

○既存岸壁を耐震強化岸壁に改良整備することにより、大規模地震災害時においても、一定の物流機能を確保することが可能となります。

大規模地震災害時現状では…




大規模地震災害時耐震化すると…



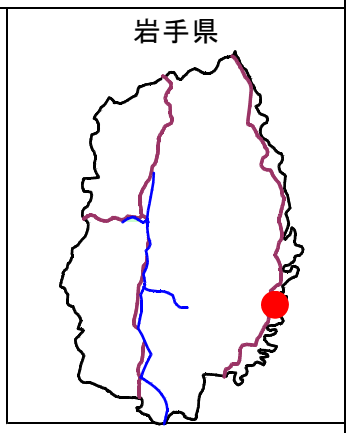
## 安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

**事業名**

釜石港湾口地区防波堤整備事業（直轄）
釜石港須賀地区耐震強化岸壁整備事業（補助：事業主体　岩手県）
（岩手県釜石市）

**事業着手：昭和53年度**

**事業の必要性・事業の概要**




**「事業の必要性」**

三陸沿岸は地理的・地形的条件から津波被害が発生しやすく、高潮による浸水などの被害にたびたび襲われています。また、大規模地震災害が懸念されることから、これらへの対策が必要です。

**「事業の概要」**

本事業は、延長1，960m（北堤990m、南堤670m、開口部300m）で世界最大水深（63m）の湾口防波堤の整備により、津波災害からの生命・財産等の防護、静穏度向上による安全な荷役作業が可能となり、あわせて耐震強化岸壁（延長130m、水深7．5m）を整備することにより災害直後の緊急物資輸送ルートの確保を図るものです。また、国道283号の仙人峠道路整備と連携し、物流の効率化を図ります。

過去の大津波による被害状況（釜石以外の地域を含む）

| 発生年 | 明治29年 | 昭和8年 | 昭和35年 |
|---|---|---|---|
| 災害名 | 明治三陸<br>地震津波 | 昭和三陸<br>地震津波 | チリ地震<br>津波 |
| 人的被害（人） | 21,101 | 3,536 | 263 |
| 家屋被害（戸） | 5,527 | 10,370 | 7,750 |
| 船舶被害（隻） | 6,631 | 8,123 | 641 |










**事　業　効　果**

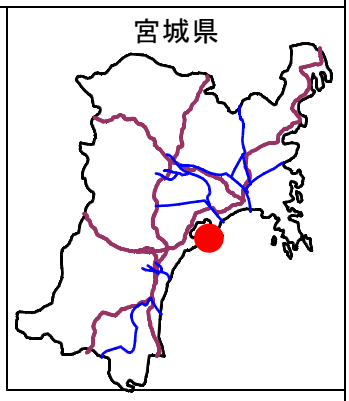
○防波堤整備による津波に対する被害の軽減
　津波による浸水被害面積　141．7ha（未整備）　→　25．3ha（防波堤完成）
○耐震強化岸壁整備による震災直後の緊急物資輸送ルートの確保
○国道283号の仙人峠道路整備と連携した物流の効率化

## 安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

| 事業名 | 仙台塩釜港（せんだいしおがま）仙台港区中野地区耐震強化岸壁改良事業（直轄）<br>（宮城県仙台（せんだい）市） |
|---|---|

**事業着手：平成17年度**

**事業の必要性・事業の概要**



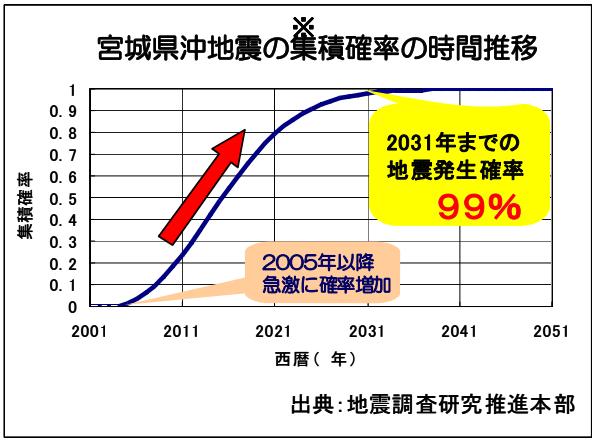

**「事業の必要性」**

宮城県沖地震は30年以内で99%という高い確率で発生すると予想されており、背後の防災ネットワークと一体となった住民避難や被災地の復旧・支援を行う防災拠点機能が求められているため、これらへの対策が必要となっています。

**「事業の概要」**

本事業は、震災直後の緊急物資輸送及び復旧期間における物流機能を確保するため、既存の高松ふ頭岸壁（延長240m、水深12m）を耐震強化改良するものです。




※前回の地震発生から評価時点までに地震が発生しているはずの確率。




**事　業　効　果**

○岸壁の耐震強化改良により、震災時に仙台港区から港湾背後の被災地へ緊急物資（医療品、食料、住宅建材等）の運搬が可能となります。

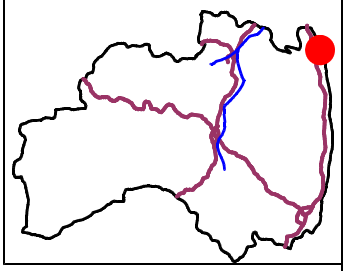
## 安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

| 事業名 | 相馬(そうま)港　3号ふ頭地区　耐震強化岸壁整備事業（直轄）<br>（福島県相馬(そうま)市） |
|---|---|

**事業着手：平成8年度**

**事業の必要性・事業の概要**

福島県



**「事業の必要性」**

相馬港に甚大な被害を及ぼすことが予想される宮城県沖地震は、30年以内で99%という高い確率で発生すると予想されており、災害時に背後の防災ネットワークと一体となった住民避難や被災地の復旧・支援を行う防災拠点機能が求められているため、これらへの対策が必要となっています。

**「事業の概要」**

本事業は、震災直後の緊急物資輸送及び復旧期間における物流機能を確保するため、3号ふ頭地区に耐震強化岸壁（延長240m、水深12m）を整備するものです。







**事　業　効　果**

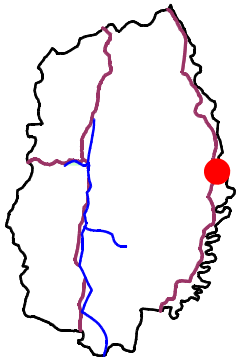
○岸壁の耐震強化により、震災時に相馬港から港湾背後の被災地へ緊急物資（医療品、食料、住宅建材等）の運搬が可能となります。

| 事業名 | 宮古港海岸高浜地区　高潮対策事業（補助 ： 事業主体 岩手県）<br>（岩手県宮古市） |
|---|---|

**事業着手：平成　6年度**

**事業の必要性・事業の概要**

岩手県



**「事業の必要性」**

当海岸は、明治三陸津波をはじめ、昭和三陸津波、チリ地震津波と度重なる津波により、多くの死者、行方不明者、家屋倒壊、流出、浸水等の甚大な被害を受けており、地元住民は津波に対する不安を抱え、恒久的な津波対策の早期完成が強く望まれております。また、高い確率で大規模地震の発生が予測されている事から、早急な対策が必要となっています。

**「事業の概要」**

津波発生時に、人命の最優先防護、財産の流出を軽減するため、防潮堤、陸閘を整備する高潮対策事業です。




陸側より海側を望む　H17.4撮影




海側より陸側を望む　H17.4撮影




H17.4撮影



チリ地震津波

**事　業　効　果**

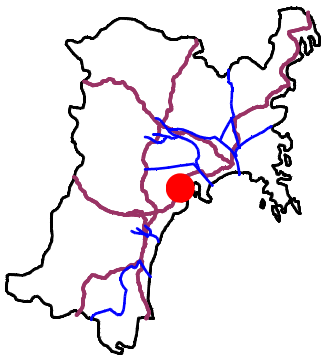
○明治29年の三陸沖地震津波と同規模の津波が発生した場合の被害が解消されます。
　浸水面積　22ha　→　0ha

## 安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

| 事業名 | 塩竈(しおがま)市都市水環境整備事業(補助:事業主体　塩竈市)<br>(宮城県塩竈市) |
|---|---|
| 事業着手:平成　6年度 | |

**事業の必要性・事業の概要**

宮城県

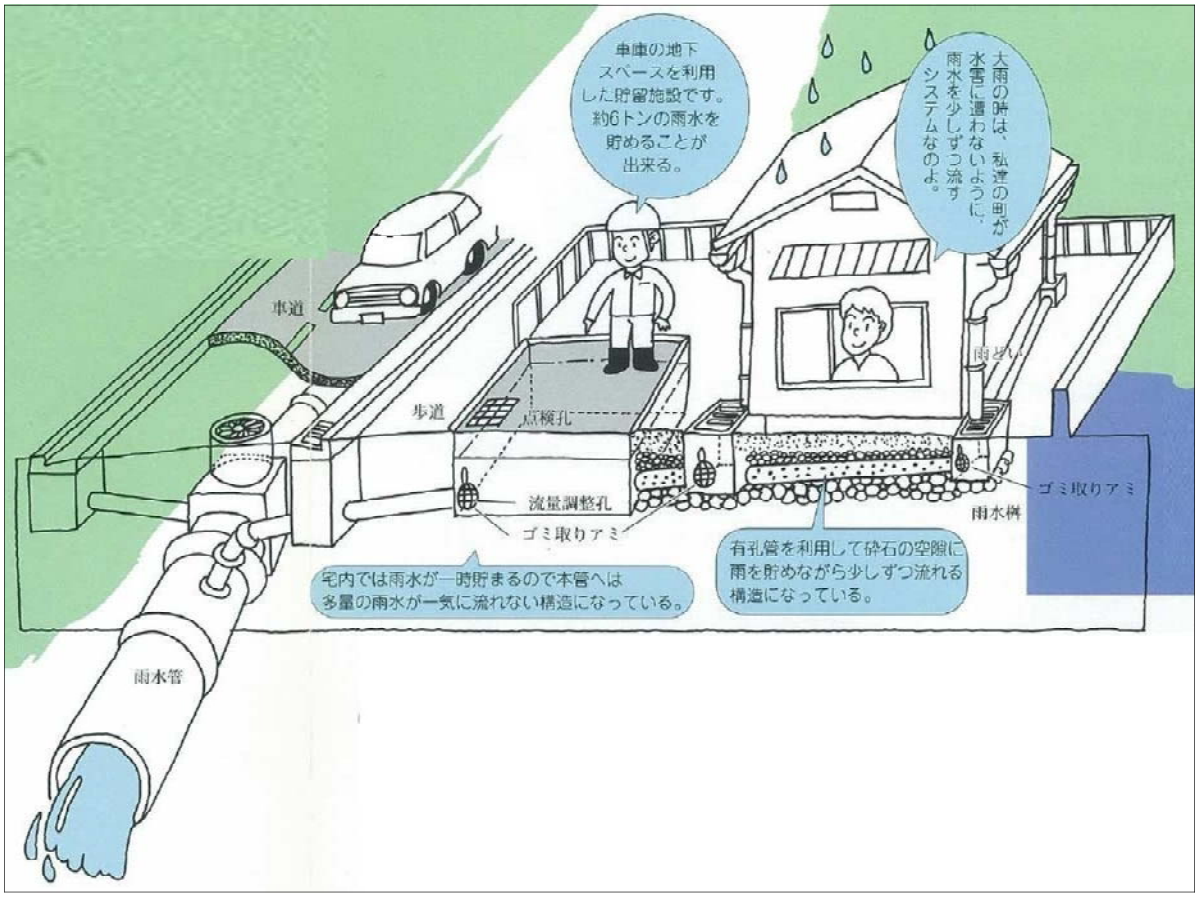


**「事業の必要性」**

塩竈市では都市化の進展と併せ、昭和61年8月、平成2年10月等の大雨により浸水被害が生じており、下水道による雨水貯留・排水機能の強化が必要です。

**「事業の概要」**

大雨による市街地の浸水被害を防ぐため、雨水排水のための下水道管と排水ポンプ場施設などの整備とあわせ、市民の協力を得て私有地内に雨水を一時的に貯め排水量を調節するための貯留浸透施設を整備します。






＜車庫の地下貯留槽タイプ(6．2m$^3$)＞



＜車庫の地下砕石空隙貯留タイプ(7．2m$^3$)＞

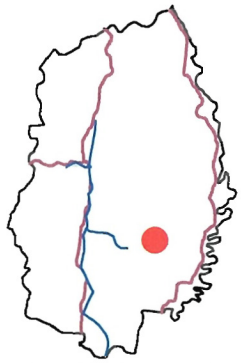
**事　業　効　果**

○雨水貯留浸透施設の整備により雨水の流出を抑制し、都市浸水被害を軽減します。

## 安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

| 事業名 | 下一日市（しもひといち）土地区画整理事業（補助：事業主体　遠野市）<br>（岩手県遠野市） |
|---|---|
| 事業着手：平成5年度 | |
| 事業の必要性・事業の概要 | |

岩手県



**「事業の必要性」**

本地区は、遠野市の中心市街地で、古くから街道筋の商店街として栄えてきましたが、土地利用形態は間口が狭く短冊形の街区となっており、利便性の高いまちづくりが求められています。

**「事業の概要」**

本地区は、JR遠野駅から南に約250mに位置し、約5.1haの土地区画整理事業により、道路や公園の都市基盤整備とともに、商業、観光、生活文化の結びついた明るい商店街の環境整備を実施します。



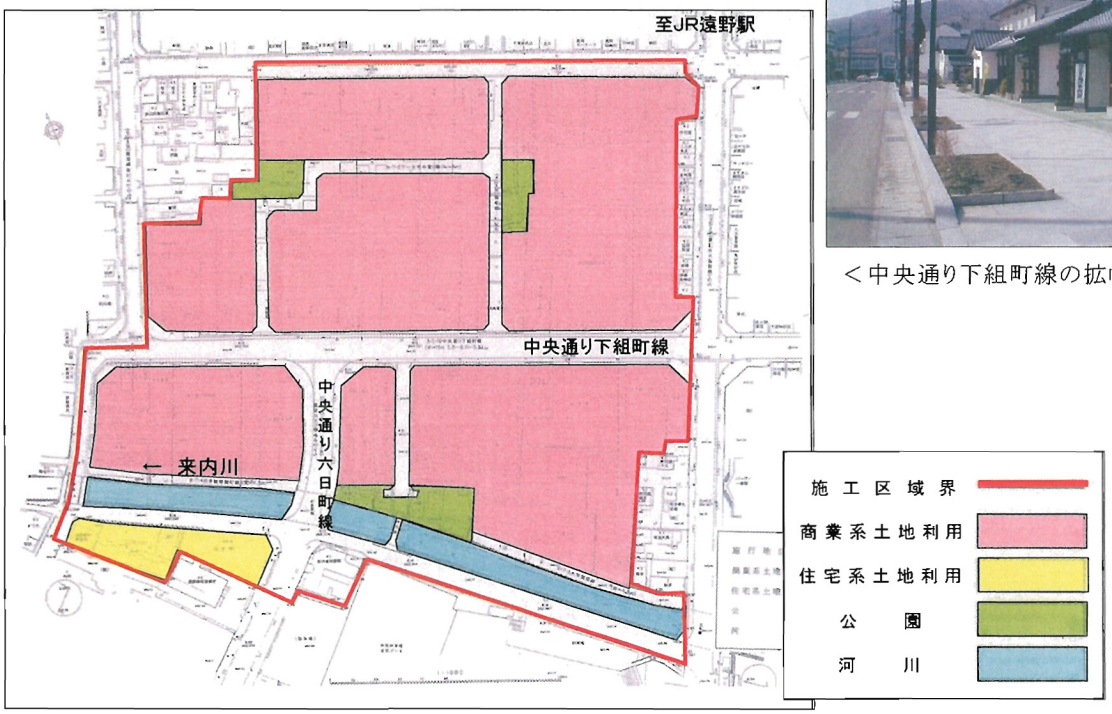
＜整備前の中央通り下組町線＞



＜整備後の中央通り下組町線＞



＜中央通り下組町線の拡幅された歩道＞




＜市街化予想図＞

**事　業　効　果**

○魅力ある街並みの形成による観光客の増加（H11:75千人→H16:110千人）、歩行者専用道路・公園等を活用したイベント（南部氏入部行列、ホップロードフェスティバル等）の増加等商業活性化による中心市街地の再生が図られています。

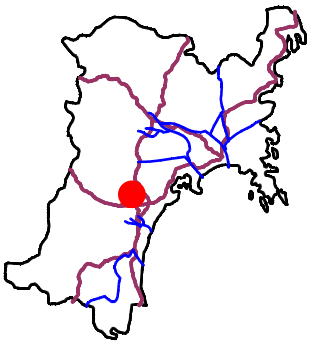
## 安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

| 事業名 | 都市計画道路　元寺小路七北田線（仙台北部共同溝・堤町工区）<br>（補助：事業主体　仙台市）　（宮城県仙台市） |
|---|---|

**事業着手：平成９年度**

**事業の必要性・事業の概要**

宮城県



**「事業の必要性」**

当該路線は、仙台都心部と仙台市北部の広域拠点（泉中央地区）を結ぶ主要幹線道路です。泉中央地区は大型小売店舗を核とする商業施設や文化センター等の公共施設が立地され、都市機能の急速な集積に伴い電力や通信の需要が増加しつつあります。安定した供給を確保するため、また占用物の埋設工事を起因とする交通渋滞を解消するため共同溝の整備を図るものです。

仙台市内の共同溝事業は、直轄事業と連携しながら整備を進めています。

**「事業の概要」**

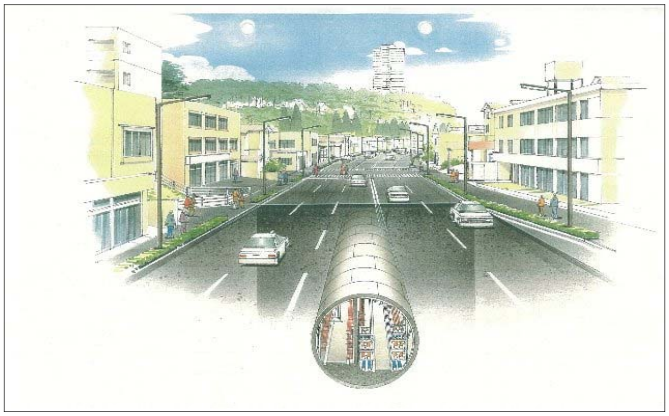
仙台北部共同溝は、災害時のライフラインの確保を図るとともに、道路の掘り返しに伴う道路交通への影響を解消することを目的とした延長１，９４０ｍの共同溝整備事業です。




＜位置図＞



＜現況写真：事業実施中の
元寺小路七北田線（堤町工区）＞



＜完成予想図１＞



＜完成予想図２＞

**事　業　効　果**

○災害時のライフラインが確保されます。
○スムーズな交通が確保します。